



令和6年6月14日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組推進

地方創生に関する包括連携協定を締結します

官民連携による地方創生の深化に向けた取組を推進します

市では、令和2年3月に策定した第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を推進するための取組の一環として、下記のとおり株式会社セブンーイレブン・ジャパンとの地方創生に関する包括連携協定（以下「協定」という。）の締結を行い、住みよさを実感でき、活気があるまちづくりを推進します。

締結後の具体取組を定めた上で、官民連携の取組推進により本市の活性化を目指すものです。

記

1 目的

総合戦略に基づき、事業主体が相互に役割分担・連携し、地方創生に資する取組に関する協定の締結を行い、地方創生の深化を図ることを目的とする。

2 締結日時及び会場

日時 令和6年6月21日（金） 13時00分から13時30分

会場 豊川市役所 市長応接室及び市長室

3 取組内容

次々ページ表のとおり。なお、表中「（第4号）農業及び観光の振興に関する事業に係る取組」に基づき開発された「とよかわ大葉」を使用したおにぎり、総菜の試食を予定しています。商品詳細は、当日に発表します。

4 協定締結の出席（予定）者

株式会社セブンーイレブン・ジャパン

オペレーション本部

静岡・東東海ゾーン ゾーンマネジャー

たかはし るい 高橋 星 様

同ゾーン 岡崎地区ディストリクトマネジャー

とだ くによし 戸田 訓義 様

商品本部

地区 MD 統括部チーフマーチャンダイザー

きたむら ゆうた 北村 雄太 様



セブニーイレブン豊川桜町店オーナー

いしかわ はじめ
石川 肇 様

ひまわり農業協同組合

代表理事組合長

いまいずみ ひでや
今泉 秀哉 様

東三温室園芸農業協同組合

代表理事組合長

てらべ ひでき
寺部 秀樹 様

豊川市	市長	竹本	幸夫
	副市長	桑野	研吾
	副市長	田中	義章

【お問合せ先】

豊川市役所 企画部 企画政策課 瀬野・鈴木

TEL : 0533-89-2126 Eメール : kikaku@city.toyokawa.lg.jp



協定書（第2条）	取組内容
（第1号） 消防・救急体制の充実に関する事業	■救急出場多発時等における救急隊員のコンビニエンスストア利用に関すること ⇒救急隊員が連続する出動で長時間消防署に戻れない場合に備え、救急隊員の精神的・肉体的な疲労軽減対策として、豊川市民病院内セブンーイレブンの利用を開始する。なお、今後利用店舗を拡大する場合は、株式会社セブンーイレブン・ジャパンを通じ、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会へ申し入れを行う。 ○実施時期：協定締結後
（第2号） ごみの適正処理の推進に関する事業	■適正なごみ処理方法等の普及啓発に関すること ⇒児童クラブにおいて、食品ロス削減やプラスチック削減など、株式会社セブンーイレブン・ジャパンが取り組む環境対策についての出前講座を実施する。 ○実施時期：夏休み期間中 ⇒食品ロス削減によるごみ減量化の啓発として、市内小学校で株式会社セブンーイレブン・ジャパンが取り組む環境対策についての出前講座を実施する。 ○実施時期：令和6年秋～冬頃
（第3号） 高齢者福祉の推進に関する事業	■高齢者の自立支援に関すること ⇒高齢者の日常生活（買い物）支援の一環として、コンビニエンスストアを利用したことのない高齢者のため、コンビニ見学・利用体験会を実施する。 ○実施時期：調整中
（第4号） 農業及び観光の振興に関する事業	■豊川産農産物の新商品開発及びとよかわブランドの推進に関すること ⇒市、株式会社セブンーイレブン・ジャパン、ひまわり農業協同組合、東三温室園芸農業協同組合が関わり、とよかわブランドの一つである「とよかわ大葉」を使用したおにぎり、総菜を開発し、東海エリアのセブンーイレブンにおいて、期間限定で販売する。また、包装には「とよかわブランドのロゴ」を使用する。 ○販売期間：令和6年6月25日～ ⇒引き続き、豊川産農産物を使用した新商品開発の相互協議を継続する。
（第5号） コミュニティ活動・市民活動の推進に関する事業	■ボランティア・市民活動団体の活動支援に関すること ⇒「豊川市ボランティア・市民活動団体応援事業所」に登録し、食品ロス削減やプラスチック削減など、株式会社セブンーイレブン・ジャパンが取り組む環境対策についての出前講座の技術提供を行う。 ○実施時期（登録）：令和6年7月
（第6号） 前5号に掲げるもののほか、地方創生の実現に関し必要な事業	■上記の他、様々な連携について、継続的に協議・調整を行う。